

《日 程》 2026年2月12日(木) 8:30～2月13日(金) 16:00 (1泊2日)

《会 場》 北海道大学手稲パラダイスヒュッテおよび周辺

※ 受講者はできる限り手稲パラダイスヒュッテに宿泊してください。

※ 宿泊者は寝袋、マット等を持参してください。

<セミナー前日の宿泊について>

※ 希望者はセミナー前日から手稲パラダイスヒュッテに宿泊可能です。

※ セミナー前日に宿泊を希望する方は、申込登録時に申告してください。

※ セミナー前日に宿泊される場合は夕食と朝食は各自持参してください。

《定 員》 24名

《受講料》 一般 ¥24,000 学生 ¥17,000

※受講料には12日夕食、13日朝食、パラダイスヒュッテ宿泊料が含まれます。

《受講料の支払い方法》 銀行口座振り込み ※請求書払い可能

北海道銀行旭ヶ丘支店(普通) 0849416

名義：雪崩事故防止研究会(ナレジコボウシケンキュウカイ)

(官公庁・団体派遣で請求書払いをご希望の方は別途事務局までご連絡ください)

《受講料の振り込み期限》 2026年2月11日(水) ※請求書払いを除く

《キャンセル料》 開催前日(2月11日)以降 100%

《コーディネーター》 阿部幹雄(雪崩事故防止研究会、雪氷災害調査チーム)

《主任講師》 阿部夕香(雪氷災害調査チーム、北海道山岳ガイド協会理事)

《講 師》 原田裕介(寒地土木研究所、雪氷災害調査チーム)、雪崩事故防止研究会会員等

《アシスタント講師》 雪崩事故防止研究会会員

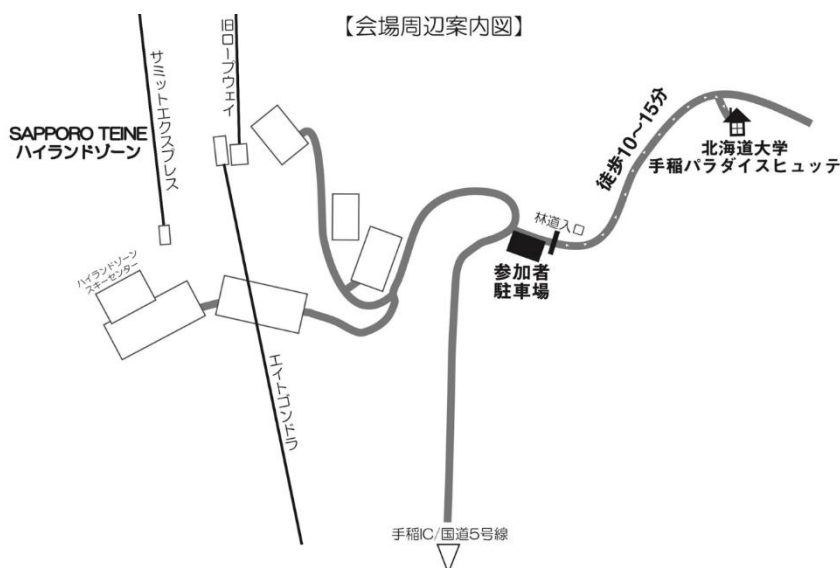
《参考図書》 ※参考図書は会場で販売します

1) 「増補改訂版 雪崩教本」(山と溪谷社 2022、本体価格 ¥1,300)

2) 「証言 雪崩遭難」(山と溪谷社 2023、本体価格 ¥1,700)

<駐車場所について>

下記会場案内図にある林道入口の駐車場スペースに駐車してください。



プログラム

※講義は小屋内、実技は手稲パラダイスヒュッテ周辺の屋外で行います。

2月12日(木)		
	8:15	集合 ※小屋の出入口が狭く出入りに時間を要しますので、早めの集合をお願いします。
	8:30～9:00	オリエンテーション
	9:00～11:00	講義「雪崩サーチ&レスキューAvaSAR（アバサー）」講師：阿部夕香
	11:30～17:00	実技 Part1「雪崩サーチ&レスキューAvaSAR」 ●雪崩トランシーバーの基礎 ダブルグループチェック ●プロービング基礎 スパイラルプロービング ●シャベリング ●要救助者への対処 # -1 埋没者救出後の処置 [保温&加温] # -2 シェルター製作（ツエルト、マット等を使用） # -3 要救助者の観察、声かけ、移動（ログリフト、ログロール） # -4 低体温症への処置（保温・加温） 《体 験》 # -1 プローブによる人体感覚 # -2 深い埋没（1.5m以上の深さ）の雪崩トランシーバーの搜索体験
	17:00～17:30	小屋へ移動
	17:30～18:30	講義「雪と雪崩の科学」講師：原田裕介（寒地土木研究所、雪崩事故防止研究会）
	18:30～19:00	講義「雪崩事故事例」 講師：阿部幹雄（雪崩事故防止研究会）
	19:00～20:00	夕食
	20:00～23:00	自由時間
	23:00	就寝
2月13日（金）		
	7:00	朝食
	8:00	小屋前集合・記念撮影 （以降 14:30 まで屋外で過ごします）
	8:20～9:20	実技 Part2 「積雪断面観測」 講師：原田裕介（寒地土木研究所、雪崩事故防止研究会） ※必要装備：ルーペ(10倍)、スノーゲージ、マクロ撮影可能なスマートフォン
	9:30～10:30	実技 Part3「コンプレッションテスト&雪質観察」 講師：徳井健留（雪崩事故防止研究会）
	10:30～10:50	休憩
	10:50～11:20	実技 Part4「プロービング基礎」 # 1) ワンステップ1ホール # 2) ワンステップ2ホール # 3) スラロームプロービング
	11:30～13:50	実技 Part5「シナリオトレーニング」
	13:50～14:30	小屋へ移動
	14:30～15:00	振り返り・アンケート回答
	15:00	閉会挨拶 阿部幹雄（雪崩事故防止研究会・雪氷災害調査チーム）
	15:00～16:00	清掃・小屋片付け

もちもの

必須装備と食料			◆ 雪崩トランシーバーの捜索、プロービング、シャベリングを実施します。
			◆ シナリオトレーニングで雪崩埋没者への保温・加温処置を実施します。
	テキスト	「増補改訂版 雪崩教本」(山と溪谷社)	
	雪崩トランシーバー (ビーコン)	3本アンテナのデジタル雪崩トランシーバーマーキング機能付き ＜レンタル可能＞	
	シャベル	金属製ブレード、シャフトが伸縮式 ＜レンタル可能＞	
	プローブ	長さ 2.4 m以上、長さ 3 m以上を推奨 ＜レンタル可能＞	
	スノーソー	刃長 30cm 程度 剪定用鋸でも可 ＜レンタル可能＞	
	ルーペ(10 倍)とスノーゲージ	「ゆきみちゃん」など。無ければルーペのみでも可。	
	スマートフォン	経度緯度を記録できるもの、マクロ撮影可能なスマートフォン	
	雪中の歩行具	山スキー、スノーシューなど	
	アウター、防寒着など	雪の中で活動できる衣類(上下)、帽子、手袋等	
	靴	雪中の歩行具に合わせた靴(登山靴、スキー靴、防寒靴等)	
	予備防寒着	羽毛服、フリース等	
	予備手袋		
	保温ボトル	500 ml以上、800～1000 mlを推奨	
	ソフトボトル	ナルゲン、プラティパス等 1 個以上	
	使い捨てカイロ	桐灰マグマを推奨 1 個以上	
	ザック	40 ℓ以上を推奨 屋外での講習中に全ての装備を収納できるもの	
	サングラス		
	寝袋	3 シーズン用または厳冬期用	
	マット	就寝場所は板の間です。	
	ヘッドライト		
	洗面用具		
	タオル		
	行動食	昼食時間は設けませんので、講習中に適宜食べられるものを持参してください。夕食と朝食は主催者で準備します。	
	飲み物	小屋でお湯を提供できます。	
	嗜好品	アルコール類などは持ち込み自由です。	
もし持っていれば持参していただきたい装備			
	断熱性のあるマット	サーマレストなどのポリエチレン素材を推奨	
	タッチパネルを操作可能な手袋		
	ツェルト		
< 装備のレンタル >			
下記の装備がレンタル可能です。ご希望の方は申込時に申請して、参加費と一緒にお振込みください。			
1.雪崩トランシーバー レンタル料：1,000 円(2 日間)			
2.プローブ レンタル料： 500 円(2 日間)			
3.シャベル レンタル料： 500 円(2 日間)			
4.スノーソー レンタル料： 500 円(2 日間)			

《北海道大学手稲パラダイスヒュッテについて》

<https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/campus-life/college/hut/>

初代のパラダイスヒュッテ（設計マックス・ヒンデル、スイス式スキーヒュッテ（ログハウス））は、1926年に北海道大学スキー部創部15周年記念事業として建設され、1978年に老朽化のため閉鎖された。1994年、西へ400㍍移動させ、現在地に復元再建した。地下1階、2階建て。宿泊定員30名。再建にあたり、太陽光発電と商業電力を導入。水は沢水を井戸に溜め、水道水としている。浄化槽を設置し、新たに設けた地下室に洗面所と水洗トイレを設置した。調理はプロパンガスコンロ、暖房は薪ストーブ。食器、鍋など調理器具、炊飯器、電子レンジ等が常備されている。



管理者は（一社）北海道大学山とスキーの会。週末に小屋番が常駐。使用の申込は、北海道大学学務部学生支援課。冬期宿泊料は1泊約600円、北海道大学学生、教職員は無料。